

大橋あきお

大阪府議会議員

通信

令和6年
春号

発行：大橋章夫府政事務所

〒573-0027 枚方市大垣内町2-17-5 ダイショウビル301

TEL: 072-861-0117 / FAX: 072-861-0116

<https://ohashi-a.com/>



■本会議場で一般質問する大橋あきお府議

大阪府議会2月定例会本会議・一般質問より

大橋あきおは、大阪府議会2月定例会本会議において、府民の皆様からいただいたお声、ご相談をはじめ、大阪府の諸問題、地元枚方市のまちづくりなどについて質問しました。

香りの害・香害への配慮

「香害」とは、洗濯で使用する柔軟剤や合成洗剤の香り、または香水などの香りにより、頭痛、吐き気、呼吸困難、全身のしびれ等が起こる症状を言います。ひどくなると動けなくなり、仕事にも学校にも行けなくなるそうです。大橋あきおは、令和3年に香りで苦しむ当事者の要望を受け、府議会で訴えました。その後、国会議員との連携で、厚生労働省が因果関係について研究を進めることになり、現在も調査研究が行われています。大橋あきおは、大阪府に対し、「香害」についての周知啓発を行い、さまざまな場所において香りへの配慮を訴えるように要望しました。

大阪府は、啓発ポスターやホームページ、デジタルサイネージなどのツールを使い府民に呼びかけるとともに、病院、学校などへの周知啓発を行い、理解が深まるように努めると答えました。

府営公園・自然公園のトイレ

年間2400万人が利用する府営公園のトイレについて、公明党はこれまで「おもてなし」の観点から、和式便器の洋式化や美装化など、多くの府民に清潔で快適に利用していただくように訴えてきました。その後、5年をかけて美装化計画を進め、来年度完了する見込みとなりました。また、大橋あきおは、府内自然公園のトイレについても、老朽化しているトイレが多く、自然と調和しながらも快適に利用できる空間にしたいと訴えました。

大阪府は、すべての人が快適に利用できる空間として、多様性に配慮した使いやすいデザイン・構造とするとともに、一時避難や休憩スペースとしての視点なども踏まえ、整備していきたいと答えました。



学研都市線沿線のまちづくり

「JR学研都市線沿線のまちづくり」については、沿線6市やJRなどが参画し協議会を設置、まちづくりの方向性が検討されています。この沿線では、枚方市の長尾駅周辺や交野市の星田駅周辺などにおいて、第二京阪道路や新名神高速道路の整備効果を活かした魅力あるまちづくりが進められています。大橋あきおは、沿線各市やJRの協議に、大阪府がリーダーシップを発揮して進めていくように訴えました。

大阪府は、学研都市線沿線各市やJRなどの連携のもと、まちづくりの推進や沿線のブランドイメージの向上などの観点から、将来像の実現に向けた「沿線まちづくりビジョン」を来年度にまとめると答えました。

都市計画道路「牧野長尾線」、 「長尾杉線」の整備効果と安全対策

枚方市では、東部地域の国道307号線や府道交野久御山線、枚方高槻線の渋滞緩和のため、都市計画道路牧野長尾線、長尾杉線の整備が進められています。両道路の整備により、枚方市東部地域の渋滞が大きく緩和され、長年の交通課題が大きく解消します。大橋あきおは、この整備による効果とともに、新しい交通環境への安全対策について質問しました。

大阪府警察本部長は、牧野長尾線と長尾京田辺線が交わる長尾東町の交差点については地元の要望を受けており、早期の信号設置も含めた安全対策の充実を検討すると答えました。

想

大阪・関西万博のトイレ

最近、2025年大阪・関西万博のトイレが話題になっています。万博会場では、博覧会協会が整備する公衆トイレは約40か所、そのうち8か所は若手建築家が設計するデザイナーズトイレが設置されます。このデザイナーズトイレの工事費が約7,000万円から約2億円ということで、その金額が批判的になりました。大橋あきおは、「パーフェクトデイズ」という一人のトイレ清掃員の日常を描いた映画を通し、きれいなトイレでお客様をお迎えするのは、海外にない日本の「おもてなし」文化であり、せっかくのトイレが批判的になっていることは残念でないと訴え、情報発信に工夫が必要であると指摘しました。